

メニコン
CSRレポート
2021

Menicon CSR Report 2021

より良い視力の提供を通じて、
広く社会に貢献する。

メニコン
CSRレポート
2021
Menicon
CSR Report
2021

創業70周年を迎えて



何もないところから
新たな価値を生み出す、
誰もやっていないことに
果敢に挑戦する

株式会社メニコン
創業者会長

田中恭一

1951年2月に私が日本で初めて角膜コンタクトレンズの実用化に成功してから今年で70周年を迎えることができました。創業当初より、素材やデザインの開発から、臨床研究、製造、販売までを一貫して自社で行ってまいりました。この間、多くのコンタクトレンズユーザー様にご愛顧をいただき、製品やサービスをお届けできたのも、ひとえに、お取引先様や関係各社、すべてのステークホルダーの皆様からのご指導、ご鞭撻の賜物と、心より感謝申し上げます。

「何もないところから新たな価値を生み出す、誰もやっていないことに果敢に挑戦する」という変わることのない姿勢は、メニコンのDNAとして社員へ脈々と引き継がれています。今後もコンタクトレンズを軸としつつ新たな分野も含め、安全で高品質、そしてメニコンならではのユニークな製品やサービスを開発、提供し、次の80年、90年、そして100年企業を目指してメニコンはさらなる挑戦を続けてまいります。



Contents

- | | | |
|---|---|---|
| <p>01 創業70周年を迎えて</p> <p>02 トップメッセージ</p> <p>03 会社概要</p> <p>04 財務・非財務ハイライト</p> <p>05 企業理念</p> <p>06 CSR方針</p> <p>07 メニコングループのSDGsへの取り組み</p> | <p>09 《特集》メニコン4つの課題と社会への貢献</p> <p>10 重要課題1 視力を提供する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オルソケラトロジーレンズを通じ、世界の近視人口増加問題に挑む <p>11 重要課題2 眼の健康を守る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ユーザーの眼の健康のためにより良い製品と知識を届ける ・スポーツをする子どもたちの健やかな成長をサポートする <p>13 重要課題3 技術と人材を育成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・より良い製品を実現するため「技」と「知」を磨き上げる ・未来を担う次世代のために教育支援に取り組み続ける <p>15 重要課題4 持続可能な価値を創る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイケアからライフケアへ。人々の毎日の健康に寄り添う ・人の眼科分野で培った技術を動物眼科医療の現場に活かす | <p>17 エンドユーザーとの関わり</p> <p>18 業界関係者との関わり</p> <p>19 社員との関わり</p> <p>20 株主との関わり</p> <p>21 社会との関わり（環境面）</p> <p>23 社会との関わり（文化面）</p> <p>25 コーポレートガバナンス</p> |
|---|---|---|

トップメッセージ



新しい「みる」を世界に
ビジョンケアだけでなく、
ヘルスケアやライフケアにも挑戦し、
五感を満足させる

株式会社メニコン
代表執行役社長

田中英成

メニコンは今年、皆様のご支援のもと、創業70周年を迎えることができました。そして、メニコングループがこれからも世界から必要と思われるグローバル企業としてさらなる発展をしていく上で、この度、中期経営計画「Vision2030」を策定いたしました。

Vision2030のスローガンを「新しい『みる』を世界に」とし、これまでコンタクトレンズのパイオニア企業として、主として視覚に関わる商品やサービスを提供してきましたが、これからは視覚だけでなく、聴覚、嗅覚、味覚、触覚といったあらゆる感覚器で「みる」ということをサービスとして展開してまいります。「みる」を「五感を通じて楽しみや喜びを感じて共感し合うこと」と捉え、コンタクトレンズを中心としたビジョンケア事業の拡大はもちろん、ヘルスケアやライフケアの領域にも挑戦いたします。動物医療や環境バイオ、ライフサイエンスといった既存の新規事業に加え、新たな事業を展開し、五感の満足を通じて幸せや豊かさを実感できるような商品やサービスを提供してまいります。

メニコングループは、これからも「エンドユーザーファースト」の精神のもと、安全で高品質な製品開発を通じてさまざまな境遇やライフステージに適した「みる」を提案していくとともに、社会貢献と地球環境に配慮した企業活動を通じて「人にも動物にも環境にも優しい地球企業」としてステークホルダーの皆様から必要な企業と思われ続けるよう、グループ一丸となって取り組んでまいります。そして、皆様から永く「サポーター」として応援していただけるよう邁進してまいりますので、変わらぬご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

最後になりますが、新型コロナウイルス感染症により影響を受けられた方々に謹んでお見舞いを申し上げますとともに、医療従事者をはじめ、感染症への対応をいただいております皆様に心より感謝申し上げます。

編集方針

メニコンは、人・社会・地球環境の調和を図り、社会に役立つ商品とサービスの提供を通じて、持続可能な社会の実現を目指しています。本レポートでは、幅広いステークホルダーの皆様へ、メニコンのCSRに関する考え方や取り組みをお伝えするために、企業としての理念や方針、2020年度の主な活動を報告しています。本レポートに掲載しきれなかった最新情報や、個々の活動についてのさらに詳しい情報は、Webサイトに掲載しています。

<https://www.menicon.co.jp/company/csr/>

本レポートとは別に、メニコンの事業活動全体を俯瞰できる統合レポートを発行しています。統合レポートは下記からご覧になれます。

https://www.menicon.co.jp/company/ir/annual_report.html

対象組織

株式会社メニコンを中心に、一部、国内・海外のグループ会社における取り組みについても報告しています。

対象期間

2020年度（2020年4月1日～2021年3月31日）の事象を中心に報告しています。

発行年月

2021年8月

関連情報

- ・サステナビリティ・CSR
<https://www.menicon.co.jp/company/csr/>
- ・CSRレポートのバックナンバー
<https://www.menicon.co.jp/company/csr/policy/>
- ・統合レポート（アニュアルレポート）
https://www.menicon.co.jp/company/ir/annual_report.html

会社概要

会社名	株式会社メニコン
本社所在地	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵三丁目 21 番 19 号
創業	1951 年 2 月
設立	1957 年 7 月
代表者名	代表執行役社長 田中英成
資本金	54 億 1,481 万円
従業員数	1,512 名
事業所数	営業所 15、販売店 53、研究所・工場 6、カスタマーセンター 3、物流センター 5

(2021 年 3 月 31 日時点)

事業紹介

コンタクトレンズ事業

安全性へのこだわりと、快適さや便利さを備えたコンタクトレンズの創造と進化を追求するメイン事業です。そのためにお客様の声に耳を傾け、お客様の目線で発想し、製品とサービスの領域を広げ、新たなニーズにお応えすることが私たちの使命と認識しています。「視力の提供を通じ、信頼できるパートナーとしてお客様の人生と関わっていく」想いから、お客様の瞳の未来を見つめ、生涯にわたって一人ひとりにふさわしい「見える喜び」をお届けしています。

動物医療事業

家族の一員であるペットの瞳は、飼い主とのコミュニケーションに欠かせない感覚器官です。同事業では、人間の眼科分野におけるコンタクトレンズ・眼内レンズ開発で培った技術をベースに、動物の眼科医療に応用した犬用眼内レンズ「メニわんレンズ」や、犬猫用の「メニわん治療用コンタクトレンズ」を開発・発売し、獣医師とともに日本の動物眼科医療の発展に貢献しています。

環境バイオ事業

コンタクトレンズケア用品の開発で培った技術を環境バイオ事業分野に活用しています。酵素技術を活かした稲わら分解促進材「アグリ革命」の開発をはじめ、家畜排泄物を迅速にたい肥化する「resQ45」、食品残渣などの未利用資源の活用など、メニコン独自の学術的な研究開発アプローチで、環境バイオ事業の可能性を大きく広げています。

ライフサイエンス事業

60年以上にわたるコンタクトレンズ事業で培った開発力や技術力、そして最も目を向けなくてはならない「安全性へのこだわり」を、ライフサイエンス領域である生殖補助医療、基礎研究、先端医療など、眼科領域以外の分野への展開によって質の向上に貢献しています。

子会社紹介

【日本】

株式会社メニコンネット
株式会社メニコンビジネスアシスト
株式会社メニワン
株式会社ダブリュ・アイ・システム
富士コンタクト株式会社
株式会社アルファコーポレーション
株式会社エーアイピー
株式会社ハマノコンタクト
板橋貿易株式会社

【アジア・オセアニア】

Menicon Singapore Pte. Ltd.
Menicon Singapore Sales Pte. Ltd.
温州欣視界科技有限公司
Menicon Korea Co., Ltd.
Menicon Australia Pty Ltd

【欧州】

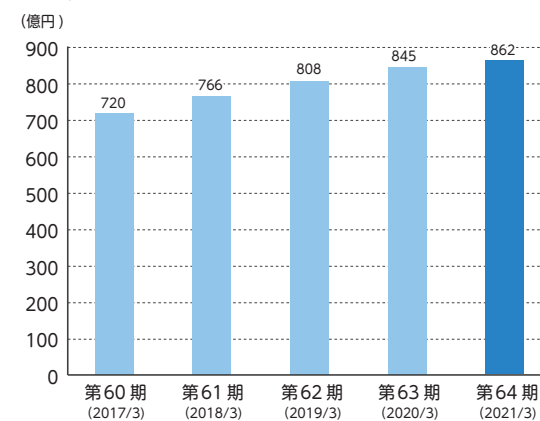
Menicon Holdings B.V.
Menicon B.V.
Menicon SAS
Menicon Pharma SAS
Menicon GmbH
Menicon Limited
Menicon Iberia S.L.
SOLEKO S.p.A.

【北米】

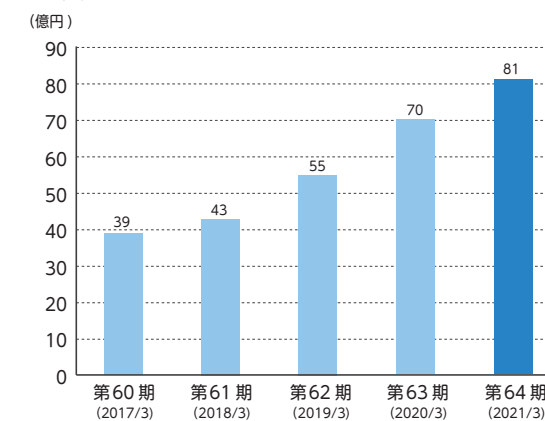
Menicon America, Inc.

財務・非財務ハイライト

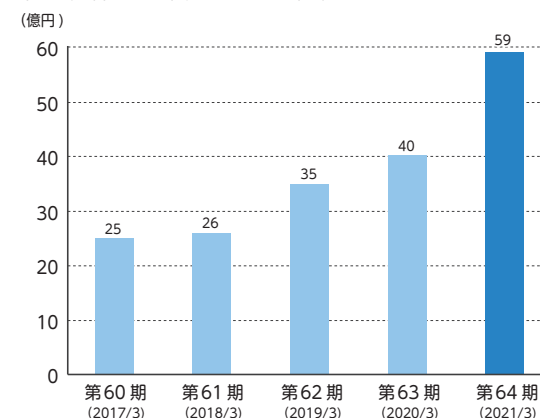
売上高



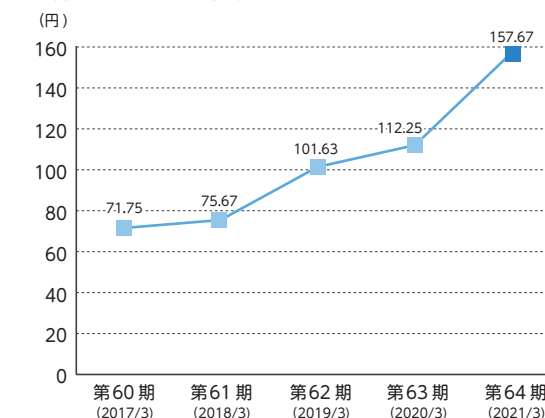
営業利益



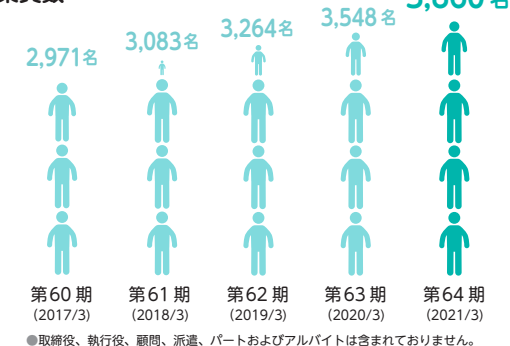
親会社株主に帰属する当期純利益



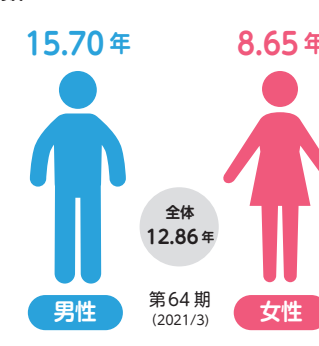
1株あたりの当期純利益



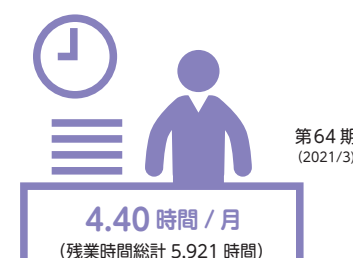
従業員数 (連結)



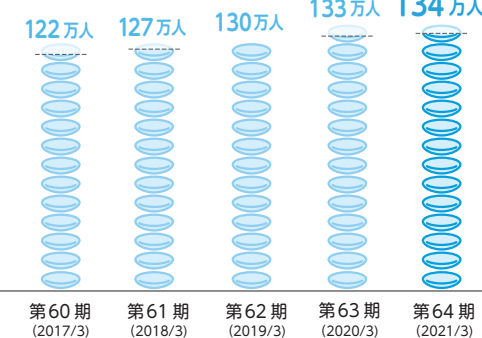
平均勤続年数 (単体)



平均残業時間 (単体)



メルスプラン会員数



企業 スローガン

より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する。

経営理念

Values.....価値観

何もないところから、新たな価値を生み出すという、誰もやっていないことに、果敢に挑戦すること。

創造 Creation

独創 Originality

挑戦 Challenge

Mission.....私たちはどんな企業でありたいか

メニコングループは、コンタクトレンズで培った技術と人で、社会に役立つ商品やサービスを世界に提供し続ける創造型スペシャリスト企業であること。

Vision.....私たちが実現する夢 単なる夢で終わらせない夢

すべてのステークホルダーから尊敬され愛される企業の頂点、No.1になる。

ステークホルダーに対する Mission

エンドユーザー

パイオニアカンパニーとして、優れた技術で見える喜びと生きる喜びの提供により顧客満足を高め、すべての顧客から永く『エンドユーザー』として利用し続けたい企業と思われること。

業界関係者

リーダーカンパニーとして、業界発展への積極的な寄与により外部研究者、得意先や取引先などの協同者満足を高め、すべての業界関係者から永く『パートナー』として関わり続けたい企業と思われること。

社員

人間尊重カンパニーとして、自己実現できる生きがいある就労環境の整備により従業員満足を高め、すべての従業員から『ファミリー』として働き続けたい企業と思われること。

株主

道徳尊重カンパニーとして、遵法精神を貫き、健全な業績により株主満足を高め、すべての株主から永く『サポーター』として応援し続けたい企業と思われること。

社会

地球市民として、すべての生命や環境、すべての文化や歴史に敬意を払い、すべての市民の満足を高め、すべての尊い命から永遠に『良き隣人』と思われ続ける企業であること。

品質方針

優れた技術で見える喜びと生きる喜びの提供により顧客満足を高める。

Vision2030スローガン

新しい「みる」を世界に New Vision of Miru for the World

「みる」とは、五感を通じて楽しみや喜びを感じて共感し合うこと。
メニコングループは、より豊かで、笑顔あふれる日々の実現に向け、様々な境遇やライフステージに適した「みる」を提案し続けます。
コンタクトレンズ&ケア用品を中心としたビジョンケア事業に加え、ヘルスケア（医療・健康）やライフケア（生活・文化・環境）の領域にも果敢に挑戦をしていきます。
グローバルでの社会貢献と地球環境に配慮した企業活動を通じて、世界中の人々から必要な企業と思われ続けます。
全ての人々が幸せや豊かさを実感できるように、新しい「みる」を世界に

経営理念

Vision2030

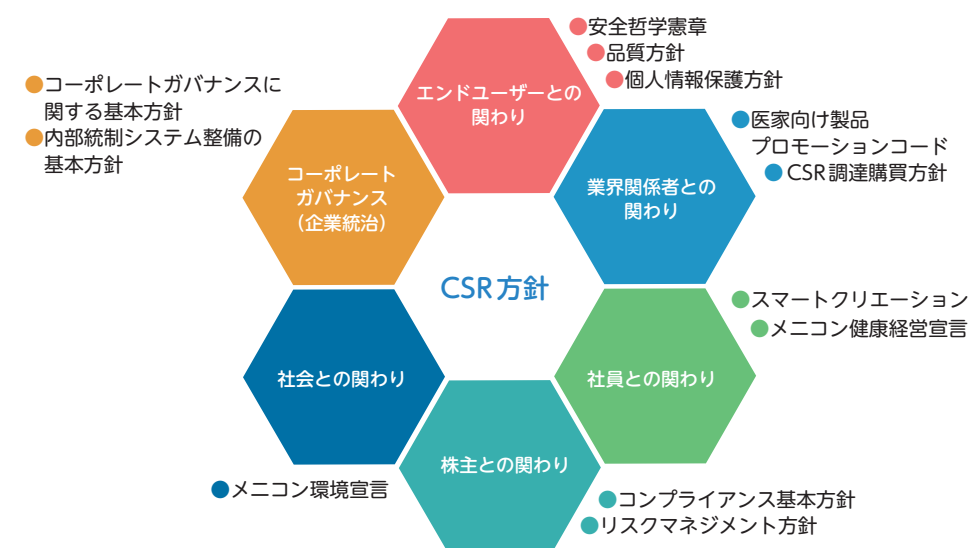
中期経営方針

CSR方針

CSRおよびSDGsに関するグループ内の意識向上を図り、常に高い認識を持って行動することに努めるとともに、CSR活動に関する情報開示を行い、各ステークホルダーとの連携強化を図ることで、持続可能な発展に貢献します。



1. メニコングループは、人・社会・地球環境の調和を図り、社会に役立つ商品とサービスの提供を通じて、持続可能な社会の実現を目指します。
2. メニコングループは、国内外の法令をはじめとする社会ルールを遵守し、企業倫理を常に向上させ、持続成長可能な事業活動を行います。
3. メニコングループは、CSR意識向上を図り、従業員一人ひとりが常に高い認識を持って行動します。
4. メニコングループは、CSR活動に関する情報開示を行い、ステークホルダーと対話を深めながら、利益ある成長を図ります。



～安全哲学憲章～ Premium Safety

その先の「安全」を目指して

私たちメニコンは高度管理医療機器を取り扱うメーカーである。だからこそ、私たちはお客様の眼の「安全」を最優先に考えたものづくりをしなければならない。

私たちメニコンの考える「安全」とは、「時代に先駆けて、より高い基準を自ら設定し、それを越えるべく挑戦し続けることによってはじめて実現される安全」である。私たちはひたむきにこの「安全」にこだわり続けることにより、お客様と共に驚きと感動を分かち合えると信じる。

私たちメニコンは研究開発から生産、物流、営業活動を含むあらゆる企業活動において、「安全」を一貫して追求する体制を整え、進化させる努力を決して惜しまない。これが医療にたずさわる企業の社会的責任であると考え。また、これが「目にたずさわる責任」である。

さらに、私たちメニコンの挑戦はこれに終わらない。私たちは一人ひとりが「安全」を語る伝道師として夢と誇りを持ち、新しい「安全」を創造するために不可能と思われる領域に対しても積極果敢に挑戦し続けていく。

以上が私たちメニコンの「安全哲学」である。

メニコングループの SDGsへの取り組み



メニコンは、2009年に「メニコン環境宣言」を掲げ、地球の未来を見据えて「人にも動物にも環境にも優しい地球企業でありたい」と願い、活動してきました。今後も持続可能な社会を見据えて、変わらぬ想いでSDGsに取り組んでいきます。

視力

コンタクトレンズ事業を中心として安心・安全な製品やサービスを通じて皆様に見える喜びを提供します。

メルスプラン

豊富な
製品ラインアップ

近視進行抑制への
取り組み



健康

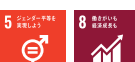
地球企業として人だけでなく動物の健康を通じて「生きる喜び」を提供します。

禁煙運動推進への
取り組み

ライフサイエンス事業

動物医療事業

スマート
クリエーション
(メニコンの働き方改革の
取り組み)



環境

環境に配慮した製品開発や工場の改善に取り組んでいます。

工場における
環境への取り組み

環境に配慮した
製品の開発

環境バイオ事業

環境保全活動

- ・なごや西の森づくり・メニコンの森
- ・クールビズ・ウォームビズ



社会

文化やスポーツ、教育への支援を通じ、社会に貢献しています。

メニコンカップ

メニコン ANNEX

スポーツビジョン

未来を担う若者へ
向けた教育支援



工場における環境への取り組み



温室効果ガス削減への取り組み

<メニコン関工場>

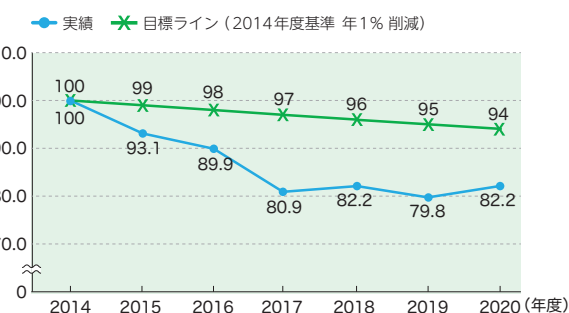
メニコンが地球に優しい企業として活動する上で、気候変動は重要な課題と認識しており、関工場ではエネルギー消費量原単位で年1%以上の削減を目標に取り組んでいます。(原単位：生産梱包数)

<Menicon B.V. エメン工場>

オランダにあるMenicon B.V.のエメン工場の屋上には、年間150MWhの電力を供給できる550枚のソーラーパネルを設置しています。工場稼働に必要なエネルギーの15%を賄っています。

また、ヒートポンプを利用して、冬に冷気を蓄えます。蓄えられた空気は夏に建物を冷やすために再利用でき、逆に夏に蓄えられた熱は冬に建物を暖めるために再利用することができます。

● 2014年度を100としたエネルギー原単位指数



環境に配慮した製品の開発



リサイクル可能な 製品包装

オランダにあるMenicon B.V.のエメン工場では、製造したコンタクトレンズを収納する容器や宅配用パッケージをリサイクル可能な素材に変更することにより、環境に配慮しています。



プラスチック使用量を削減した ケア用品ボトル

フランスのケア用品工場Menicon Pharma SASでは、新しい製造技術により、ケア用品ボトルのプラスチック材料の使用量を最大30%削減しました。

※当工場での従来品との比較。



4つの課題と 社会への貢献

1951年に日本初の角膜コンタクトレンズを独自に開発・実用化して以来、メニコンはパイオニア企業として国内のコンタクトレンズ業界をリードしてきました。これからも事業を通じて、国や地域、業界の枠を超え、お客様の快適なライフスタイルと、より良い社会の実現に貢献していきます。

1

視力を提供する

あらゆる世代に応じられる、個々に最適な視力と快適なライフスタイルを提案、提供し続けます。

▶ P10 へ

2

眼の健康を守る

高度管理医療機器メーカーとして、安全、快適、清潔な瞳を守る責務を果たします。

▶ P11 へ

メニコン 4つの重要課題

「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する。」という企業スローガンを実践するために、メニコンは4つの重要課題を定めています。それは、一人ひとりに最適な視力を提供するとともに、医療機器メーカーとして眼の健康を守る責務を果たしながら、創業以来培ってきた技と知を活かして挑戦し、いつの時代も社会に価値を提供し続ける——私たちが受け継ぐ想いと姿勢を示しています。

3

技術と人材を育成する

ものづくりを支える「技」と「知」の継承。時代の流れに風化させない志で、未来を導きます。

▶ P13 へ

4

持続可能な価値を創る

コンタクトレンズ事業を核に、新分野へ踏み出し、次なる企業価値を創出していきます。

▶ P15 へ

重要課題

1

視力を提供する

オルソケラトロジーレンズを通じ、 世界の近視人口増加問題に挑む



ニーズの高まる中国で「製造」から「販売」までの一貫体制を構築

近年、全世界的に近視人口が増加し、2050年までに世界の人口の約半数が近視になると推定されている*中、その対策の一つとしてオルソケラトロジーレンズ（以下、オルソK）に注目が集まっています。オルソKは、レンズの内側に特殊なデザインを施したハードコンタクトレンズで、寝ている間に装着して角膜の形状を矯正することにより、手術することなく視力の改善を行うものです。

若年層の視力低下が社会問題となっている中国では、近視人口の抑制を国家戦略の一つに掲げており、オルソKの研究開発も進んでいます。近年、オルソKの人気・需要は高まりをみせており、メニコンでは、今後さらに増大していくニーズに応えるために、研究開発・生産・販売体制を強化していきます。

2020年11月には、メニコンの子会社で、コンタクトレンズを製造・販売する株式会社アルファコーポレーションが、中国江蘇省に現地法人を設立しました。これまでは日本国内でオルソKを製造し国内外へ販売してきましたが、現地法人の設立によって、高品質なレンズをより多く、より短い期間で中国の医療機関や患者様のもとにお届けできるようになります。2024年の量産開始を目指して生産体制の確立に動き出しています。

さらに、2021年1月には、コンタクトレンズやケア用品

を中心とした医療用機械器具の販売および輸出入事業などを行う板橋貿易株式会社を、メニコングループの仲間に迎え入れました。板橋貿易は中国で医療機器販売会社や眼科クリニックも展開しており、広い医療機関ネットワークならびに処方支援技術を有しています。販社の強みと70年間培ってきたメニコンのブランド力、製品力を活かしてシナジー効果を発揮していきます。

このように中国市場の成長に照準を合わせて、「製造」から「販売」までの一貫体制を構築しました。今後、コンタクトレンズの正しい処方と安全な使い方の普及を目指して、より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献していきます。

※ Holden BA, et al. Ophthalmology. (2016)



板橋貿易代表取締役 板橋達郎（左）と
メニコン代表執行役社長 田中英成

VOICE

「世界一の近視大国で見える喜びを広げたい」

「メニコンのレンズを着けて、見る世界が変わった」と言われた中国の患者様の笑顔が今でも頭に浮かびます。

「国民健康視覚報告」によると、中国の近視人口は2020年に約7億人に達し、世界一の近視大国になりました。また、所得水準の向上によりコンタクトレンズ（以下、CL）が普及する一方、眼に対する正しい知識や、自分に適したCLを知らずに、視力障害で不自由な生活を強いられている

方が大勢います。中国に販社を持つ板橋貿易のグループ化により、中国市場との距離が近くなりました。中国子会社の大連板橋は、CL専門の営業部門と処方支援のノウハウを有しています。これから、国内外の仲間と一緒に、「エンドユーザーファースト」の理念を具現化し、多様なCLの提供を通じて、多くの方々に快適なライフスタイルを提案したいと思っています。世の中に笑顔が増えていくことを楽しみにしています。



中国戦略部
拠点管理チーム
リーダー
カウ
セ
ー
霍 茜

2 眼の健康を守る

ユーザーの眼の健康のために より良い製品と知識を届ける



かわいさも、眼の健康も。メニコンならではのカラコンライフサポート

若い世代を中心に広く普及したカラコン（カラーコンタクト・サークルレンズ）。メイクやファッションに合わせて楽しむ人が増える一方、眼科の診察を受けずに自分の判断で購入し、不適切な使用を続けてトラブルにつながるケースも報告されています。メニコンでは製品を開発・販売するとともに、ユーザーに眼科受診を促し、眼の健康を守るための啓発に積極的に取り組んでいます。

2020年9月には、メニコン初となる1日使い捨てタイプのサークルレンズ「1DAY FRUTTIE（ワンデーフルッティ）30枚入り」を発売しました。2021年3月からは国内大手通販サイトを中心に10枚入りを販売開始し、同時に啓発活動として、購入者を対象に、自分の視力に合った適切な度数を再確認するためのレンズモニター施策「Let's

GOカラコン健康診断」を実施。インターネットで購入するユーザーを眼科へ導くための取り組みを行いました。

また、主なユーザーである10代20代に向けて、眼の安全を守りながら健康的にカラコンを楽しむための情報サイト「カラコンのコレカラ」を2020年11月にオープン。サイトでは、「一生モノ」の自分の眼のメンテナンスとして眼科受診を身近に感じてもらうためのムービーやコラムのほか、カラコンデビューを考えている人への眼科医からのアドバイス、カラコンを健康的に楽しんでいるインフルエンサーを起用したライフスタイル情報などを配信しています。

メニコンは「ずっと輝く瞳に。」という企業メッセージのもと、すべてのコンタクトレンズユーザーの眼の安全に寄り添った取り組みを続けていきます。



3つのカラーを備えた「1DAY FRUTTIE」



「カラコンのコレカラ」のメインビジュアル
<https://www.menicon.co.jp/karakore/>

VOICE

「製品企画と安全啓発の両面を意識したメニコンのカラコン展開」

「1DAY FRUTTIE」は現代のトレンドに合わせ、グラデーションデザインが自身の瞳の色に馴染み、自然に大きく、瞳の印象をアップしてくれる3つのカラーバリエーションで販売しています。それぞれのデザインに個性があり、その日の気分やファッションやメイクに合わせて使い分けたいようなラインアップであると思います。カラコンに対するニーズやトレンドは変化が激しく、また異業種からの参入もしやすい製品

であるため、他社製品との差別化を意識したプロモーションを行いました。また、インターネット通販や雑貨店等でも購入できる一方で、ユーザーの目の安全に対する意識の向上が課題と考えており、眼科受診をより身近に感じていただけるようなPR活動にも力を入れています。カラコンを楽しむすべての皆様が、健康な瞳で日々を過ごしていただけるように、製品企画と安全啓発の両面から今後も活動を続けていきます。



ブランド戦略部
FRUTTIE・Rei 戦略チーム
チームリーダー
桑原 美穂

2 眼の健康を守る

スポーツをする子どもたちの 健やかな成長をサポートする



スポーツに打ち込む子どもたちと保護者を応援する情報を発信

スポーツを通じた子どもたちの成長と、その姿を見守りサポートする保護者を応援するスペシャルウェブコンテンツ「スポーツでキラリ輝く！子どもの瞳応援部」を、メニコンのホームページ上に2020年9月から公開しています。

近年、子どもたちの視力低下が進んでいます。文部科学省の「令和元年度学校保健統計調査」によると、裸眼視力が1.0未満の小学生は全体の約35%、中学生は約57%に上り、過去最多となりました。これに伴い、コンタクトレンズを使用する年齢も低くなってきており、スポーツでもコンタクトレンズをしてプレーする子どもが増えています。

保護者にとっては、子どもが見えづらさを我慢してプレーするのではなく、適正な視力で、高いパフォーマンスを目指して思い切り打ち込んで欲しいという思いがあります。

一方、子どもが安全にコンタクトレンズを使うためにどんなサポートをすればいいのかという悩みもあります。

こうした想いや悩みに応えるために「スポーツでキラリ輝く！子どもの瞳応援部」では、保護者が知っておきたい子どもの眼の健康に関する知識やスポーツをする際のコンタクトレンズに関する疑問、プレー中の視力がパフォーマンスに与える影響、コンタクトレンズとさまざまなスポーツとの相性などを解説。また、スポーツに打ち込む親子のストーリーを紹介するムービーやインタビュー、座談会など、保護者の方々が共感できる記事を掲載しています。

キラキラ輝く子どもの瞳、健やかな成長を願う保護者の眼差しを応援することで、メニコンはたくさんの人たちに「見える喜び」を提供し続けます。



「スポーツでキラリ輝く！子どもの瞳応援部」https://www.menicon.co.jp/campaign/es_menicon/

3 技術と人材を育成する

より良い製品を実現するため「技」と「知」を磨き上げる



産学連携の共同研究で、さらなる技術と人材の育成を目指す

メニコンは国立大学法人名古屋工業大学と共同で、2020年8月に、名古屋工業大学産学協同研究講座内に「メニコンフューチャーデバイス研究講座」を開設しました。

研究代表者は名古屋工業大学大学院工学研究科准教授の山本勝宏氏と名古屋工業大学特任准教授の伊藤恵利です。伊藤はメニコンで研究開発に従事するとともに、同大学の特任准教授を兼務してきた経歴を持ち、本研究講座では所長を務めています。研究期間は2020年8月1日から2024年3月31日までの予定です。

この講座では、山本勝宏氏とメニコンが2012年から行ってきた共同研究の成果をさらに発展させ、「構造制御ならびに新製法による新規コンタクトレンズ用素材の設計」を目指しています。

メニコンは日本で初めて角膜コンタクトレンズを実用化して以来、コンタクトレンズのパイオニア企業として、素材を軸に、より安全で快適なコンタクトレンズを追究して研究開発を続けてきました。そうした取り組みの中で、名古屋工業大学とはこれまでも複数の共同研究を実施しています。今回、これらの研究を、より発展的・包括的に推進するために研究講座の開設に至りました。

研究内容については、メニコンが70年にわたって蓄積してきたレンズの素材および製造方法に関するノウハウと、

名古屋工業大学が有する高分子科学の学術的知見を融合し、付加価値の高い材料とイノベティブな製法を組み合わせた新たな製品を生み出していくことを見据えています。

大学と企業の技術者がそれぞれの技術と知恵を活かし合い、成果を製品に反映することで、社会と技術の発展に貢献するとともに、人材育成にも貢献していきます。



メニコンフューチャーデバイス研究講座開所式にて。左から、名古屋工業大学大学院 山本勝宏准教授、松岡真一准教授、株式会社メニコン生産開発本部統括本部長 川浦康嗣、メニコンフューチャーデバイス研究講座 特任助教 下村昂平、特任准教授 伊藤恵利

VOICE

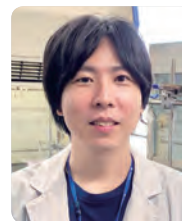
「メニコン研究開発の拠点の一つとして」

メニコンフューチャーデバイス研究講座は、名古屋工業大学内に研究室を構えており、設置されている会議ブースはメニコンの研究員が打ち合わせに利用するなど、総合研究所分室の役割も果たしています。

私は共同研究先の研究室に在籍し、先生方の協力を得ながら研究分野を広げ、新たな技術で構築するレンズ材料の研究に取り組んでいます。特任助教として出向し、メニコンの外で活動す

ることになり、業務の自由度が高くなりました。どのように研究を進めたらよいか、常に自問自答を繰り返しながら、自身の信念や興味に基づいて研究活動ができる環境はとてもやりがいがあり、このような講座を設立する会社の懐の深さを感じます。

メニコンがパイオニアカンパニーとして、今後も新しいレンズを世の中に発信できるよう、成果を積み上げていきたいと思っています。



メニコンフューチャーデバイス研究講座 特任助教 下村 昂平

3 技術と人材を育成する

未来を担う次世代のために教育支援に取り組み続ける



より丁寧なコミュニケーションを心がけ、若者たちの学びを支援

メニコンは次世代の教育支援に継続して取り組んでいます。中高生向け教育プログラム「クエストエデュケーション」では、企業からのミッションに生徒たちが授業を通じて取り組みます。メニコンのミッションは「ここからの、あたりまえを私たちがつくる。世の中に『みるよるこび』が溢れ出すワクワクの新事業を提案せよ!」。全国から43校がこのミッションに参加し、メニコン社員はオンラインや訪問の形で授業に加わり、学習を支援しました。社員たちは、オンラインという生徒たちが慣れない環境だからこそ積極的に話しかけて親しみやすい雰囲気をつくるなど、より丁寧なコミュニケーションを心がけました。

2月に開催されたクエストカップ2021では、最も優れたチームに贈られる企業賞（メニコン賞）に、百合学院高等学校「FUNKY TONNY」チームを選出。生徒だけでなく社員にとっても有意義で、双方の学びにつながる活動となりました。



メニコン賞を受賞した百合学院高等学校「FUNKY TONNY」チーム（写真右下）

昨年度に続き、愛知県が主催する「かがやけ☆あいさすティナ研究所」にも参画しました。このプログラムは、企業が大学生に環境分野の課題を提示し、学生は企業担当者との対話を通じて解決策を模索し独自の提案を行うものです。

メニコンの課題は、「『地球に優しい』メニコンの環境ビジネスを提案せよ」。これに対し、4名の学生からなるチーム・メニコンは「『Eye 愛傘』ずっと輝く瞳に。」を提案。プラスチックや食品ロスなどの社会課題、そしてメニコンの「乾燥・粉末化」技術に着目し、バイオマスプラスチックを生成して「地球にも目にも優しい日傘」を生産するというアイデアでした。紫外線からすべての人の目を守る「ジェンダーレスな日傘」という観点も見いだして多彩な意義を示し、プレゼン視聴者が選ぶ「オーディエンス賞」を受賞しました。



「オーディエンス賞」を受賞したチーム・メニコン

VOICE

「サスティナ研究所プロジェクトへの参加を通じて」

メニコンは社名が「目にコンタクトレンズ」からきている通り、コンタクトレンズのメーカーですが、「人にも動物にも環境にも優しい地球企業」を目指し、現在は環境バイオ事業やライフサイエンス事業、動物医療事業といった新規事業にも力を注いでいます。

事業提案に向けたディスカッションでは、若者ならではの新しい発想や発見があり、とても新鮮で刺激を受けました。

また、学生メンバーが回を重ねるごとに積極的になって、そして成長していく過程を実感することができました。サポート側の社員としても非常に素晴らしい経験をさせていただきました。

学生メンバーからいただいた提案は社会的意義があり、コンタクトレンズ事業と環境バイオ事業とのシナジーを示すことができるという素晴らしいものでした。いただいた提案については実現へ向け取り組んでいきたいと思っています。



環境バイオ部 部長 藤原 明士

4 持続可能な価値を創る

アイケアからライフケアへ。 人々の毎日の健康に寄り添う



眼の健康と健やかな暮らしを支える多様なサプリメントを展開

メニコンは、コンタクトレンズに関する研究で培った技術・知見を応用し、より幅広い領域から人々の健康増進に寄与するライフサイエンス事業を展開しています。中でも、サプリメントの分野では、2019年にメニコン初の機能性表示食品「めにサプリ ビルベリー」を発売して以来、新製品を次々とリリースし、ラインアップを拡充しています。

2020年11月には、「めにサプリ」シリーズ第4弾として、オフィスワークによる一時的なストレスを緩和する機能や血圧が高めの方の血圧を下げる機能があるとされるGABA（ギャバ）を配合した「めにサプリ GABA（ギャバ）」を発売。続けて第5弾として、目のピント調節をサポートする機能や睡眠の質を高める機能があるとされる「クロセチン」を配合した「めにサプリ クロセチン」を発売しました。

2020年12月には、「カラダの中から健やかに、そして美しく輝く女性の毎日を応援する」ための新ブランド「めにサプリ セレクト」を立ち上げ、美容と健康をサポートする6種類の製品を発売しました。そして2021年1月、「めにサプリ ビルベリー」に新たな届出表示である「目の潤いをサポート」を加えた「めにサプリ ビルベリー+M（プラスエム）」を、全国の「Menicon Miru」と一部のメニコングループ販売店「Miru」などで販売開始しました。

コロナ禍で外出が減り、自宅でのテレワークなどで目を酷使する機会が増えた昨今、目や身体の健康を気にかける人が増えています。メニコンはアイケアからライフケアへ、生涯にわたって人々の健康をサポートし続けるために、製品とサービスを通じて幅広いニーズに応えていきます。



めにサプリ
クロセチン



めにサプリセレクト
ルテイン



めにサプリセレクト
ヘルパー乳酸菌



めにサプリ
ビルベリー+M

VOICE

「『めにサプリ』って、目にサプリ？ メニコンのサプリ？」

「『めにサプリ』って、目にサプリ？ メニコンのサプリ？」と、よく聞かれます。当社はコンタクトレンズ、レンズケアの製造販売を通して「より良い視力」を提供していますから、「目にサプリ」です。でも、健やかで美しく輝く瞳で過ごしていただくためには、カラダ全体が健やかで美しくなければいけません。まさに「五感を満足させること」が我々の使命。そんな想いで「メニコンのサプリ」に取り組んでいます。

「サプリメントって本当に効果があるの？」、「たくさん種類があって何を飲めばいいかわからない」。そんな声にお応えし、科学的根拠に基づきその機能を表示する「機能性表示食品」、よりカジュアルにサプリメントを体感したい方向けに「めにサプリセレクト」をご用意しました。

「目にサプリ」から「メニコンのサプリ」へ。今後も皆様のカラダをサポートするため、魅力的な商品を開発していきます。



企画管理部（新規）
渡辺 剛士

4 持続可能な価値を創る

人の眼科分野で培った技術を 動物眼科医療の現場に活かす



獣医師の眼科診療と動物の健康をサポートする製品・サービスを提供

メニコンは人の眼科分野で培った技術をベースに、動物眼科医療分野に参入し、獣医師の眼科診療をサポートしてきました。2003年には動物眼科医療を専門とする株式会社メニワンを設立し、専用の機器やサービスを提供しています。

一般的な動物病院では、獣医師は自分の専門に限らず、総合医としてさまざまな疾患の診察にあたります。しかし、獣医眼科の専門的知識と技術を持つ獣医師が少ないという現状もあり、眼科診療を行う際に有用な情報を与えてくれる検査機器が重要な役割を果たします。

メニワンでは2020年6月に、検眼用器具「アイリスベット light（cPLR Tester）」の販売を開始しました。本製品は犬猫など動物の目が見えない原因を特定するために、赤・青色光を照射する装置です。光に対する虹彩の反応を確認する

ことで、視細胞（網膜）の異常もしくは視神経（脳）の異常を検出できます。2020年9月には、動物用眼底カメラ「クリアビュー 2」を発売しました。iPod touchと組み合わせて犬猫やその他小動物の眼底撮影を簡便に行うことができ、眼底を観察することにより、眼病の兆候を確認できます。メニワンは犬の眼科診療をAI（人工知能）でサポートするサービス「Fundus AI（ファンダスアイ）」を提供しており、「クリアビュー 2」とともに利用することで疾患の早期発見、治療にも役立ちます。

「人にも動物にも環境にも優しい地球企業でありたい」という願いを環境宣言に掲げるメニコングループの一員として、メニワンは獣医師をサポートし、動物の健康と飼い主の想いに寄り添う製品・サービスを提供し続けます。



検眼用器具「アイリスベット light（cPLR Tester）」



動物用眼底カメラ「クリアビュー 2」

VOICE

「設立20周年を見据え、さらなる飛躍を」

メニワンは、獣医眼科を目指す獣医師に寄り添い成長してきました。眼内レンズや治療用バンデーコンタクトレンズを軸に、眼科医療機器やサプリメントだけでなく、他科サプリメントにも事業を拡大してきました。

2020年度に導入した「クリアビュー 2」「アイリスベット light」は手軽に眼科の基礎診断に使える検査機器として好評をいただきました。これからも商品の企画開発に力を入れていきます。

また、海外事業拡大に挑戦し、2021年3月には中国子会社「美尼旺（上海）寵物保健有限公司」を設立しました。中国を含むアジア地域での商品・サービス提供を強化するのが狙いです。

メニワンは2023年に設立20周年を迎えます。さらなる飛躍を目指し、大切な家族の一員である愛犬・愛猫と「少しでも長く一緒に過ごしたい」という飼い主様の気持ちにより一層励んでいきます。



株式会社メニワン
商品企画チーム
マネージャー
河内 哲

エンドユーザーとの関わり

エンドユーザーとのコミュニケーションを大切に、優れた技術を活用して
使いやすさ・わかりやすさに配慮した安心・安全な商品・サービスを提供します。

新しい時代に応じた販売スタイルへ

メニコングループ販売店は、各販売社で蓄積してきた知識・経験の共有化や共同販促を行うことで、より強固なネットワークを構築するため、メニコンの直営店（Menicon Miru、Miru+）およびメニコングループのコンタクトレンズ販売会社（株式会社ダブリュ・アイ・システム、富士コンタクト株式会社、株式会社エーアイピー）の販売チェーン店（エースコンタクト、富士コンタクト、シティコンタクト）のショップロゴを「Miru」に統一して展開しています。

ITテクノロジーの革新やSNSの普及、新型コロナウイルス感染症の影響により、お客様の購買スタイルも多様化しています。ご来店いただけるお客様に対しては、店舗で行っている感染症対策の取り組み動画を販売店ウェブサイトで紹介し、安心してご来店いただけるよう対応しました。店舗での接客時間の短縮や非対面での対応を希望されるお客様のためには、バーチャルコンタクトレンズショップ「メニコン ARショップ」をホームページ上に公開し、より実際の



「メニコン ARショップ」



「Club Menicon」アプリの
レンズ交換日通知サービス

ショップに近い拡張現実（AR）上で、コンタクトレンズに関する興味や疑問に感じていることをお客様自身が確認できる環境を整えました。また、メニコンのコンタクトレンズをご使用いただいている方々に対して情報発信を行う総合サービスサイト「Club Menicon（クラブメニコン）」を立ち上げ、一人ひとりに合ったコミュニケーションを推進しています。

メニコングループの販売店では、これからも「エンドユーザーファースト」という考えのもと、時間・場所などの自由度が高い「オンライン」、対面による親近感や安心感を重視した「オフライン」のサービスを揃え、お客様一人ひとりの価値観や、その時々ニーズに応じて選んでいただくことで、皆様のコンタクトレンズライフをサポートしていきます。

ご相談の安心窓口、お客様センター

メニコンでは、お客様に正しく安全にコンタクトレンズをご使用いただくために、レンズやケア用品に関するお問い合わせをはじめ、さまざまな疑問や不安、お問い合わせのご相談窓口として「お客様センター」（0120-103109）を設置しています。電話でのお問い合わせは月平均約2,000件、メールでは月平均約800件に対応しています。的確かつ迅速にお客様のニーズに応えられるよう、幅広い知識が要求されるスタッフの教育に力を注ぐとともに、最先端のオペレーティングシステムを導入して、サービス品質の向上に努めています。このほか、メルスプラン約134万人（2021年3月末時点）の会員様や加盟施設との窓口である「メルスセンター」、新たなコミュニケーションである「Club Menicon」の運用窓口として「Club Menicon サポートセンター」を設置し、いつでも安心してご利用いただける体制を整えています。



業界関係者との関わり

事業や各種協会など外部活動を通じ、得意先や取引先との公正な取引・競争環境を整える支援を積極的に行うことで業界発展に貢献します。

眼の健康を支える人材育成に向けて

メニコンでは安全哲学に基づいた人材育成を全国の販売店にも広げべく、全国の研修センターで、「コンタクトレンズ」と「接遇」に関する研修を実施しています。

従来の対面型研修については、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を考慮して開講判断を行い、開講時には徹底した感染症対策のもと実施しました。そして、Web会議システムを使用したオンラインの研修も新たに導入しました。時間や場所にとらわれない新しい研修スタイルの活用により、多様な受講ニーズに応えています。

また、年2回発行している研修センター情報誌「ザ・メニコン」をリニューアルしました。眼科領域における最新の知見やトレンドを多くの販売店へタイムリーにお届けしています。



リニューアルした研修センター情報誌「ザ・メニコン」

安全使用の啓発と業界の発展に尽力

メニコンが加盟する一般社団法人日本コンタクトレンズ協会は1958年（昭和33年）に発足し、2018年に創立60周年を迎えました。同協会は、コンタクトレンズおよびケア用品の製造販売業者、販売業者等の約70社から構成され、コンタクトレンズの正しい普及と業界の発展を目指して活動する日本を代表する医療機器団体の一つです。同協会ではユーザーの皆様がコンタクトレンズを安全に快適に使っていただけるよう正しい普及を願う日として、「9月10日」を「コンタクトレンズの日」と定め、全国的な告知活動を展開しています。当社も、「コンタクトレンズの日」の周知活動に尽力し、定着するよう努めています。

また、当社が加盟する一般社団法人日本医療機器産業連合会では、会員団体や会員企業に対する企業倫理とコンプライアンス強化に向けた取り組みの一環として、毎年推進標語の募集を行っています。当社からも積極的に応募しており、2020年度は当社社員が応募した標語「新たな局面に試される 未来に繋がる企業モラル」が「優秀標語作品賞」に選ばれました。

メニコンは、コンタクトレンズのパイオニア企業として、関連団体のさまざまな活動を通じ、業界の発展に貢献しています。



「優秀標語作品賞」に選ばれた
ブランド戦略部 松田清貴

社員との関わり

従業員の人権を尊重するとともに、キャリア開発支援、働きがいを感じることでできる就労環境整備、人事・教育制度や福利厚生制度の確立・運用、健康経営推進により、従業員満足を高めて、グループ組織としてのパフォーマンスを向上させることを追求します。

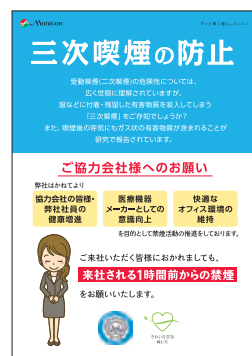
健康経営優良法人2021に認定

メニコンは経営理念にて「社員」を重要なステークホルダーの一つと位置付けています。代表執行役社長 田中英成を健康経営責任者とし、「スマートクリエーション^{※1}」を当社の働き方改革のスローガンに掲げ、社員の心身の健康や社員間のコミュニケーション促進を考えた職場環境の整備を通じて、業務の生産性と満足度の向上に取り組んでいます。インフルエンザ予防接種や禁煙外来治療費の援助、受動喫煙・三次喫煙防止の取り組み、本社事業所でのあん摩マッサージ指圧師（国家資格）による施術、社員とその家族が利用できるメンタルヘルスケアのためのホットライン「こころの電話相談」などのサポートを充実させ、社員が心身の健康を維持し、より良いコンディションで仕事に打ち込める体制を整えています。また、新型コロナウイルス感染症対策としてテレワークや時差出勤を制度化し、Web会議を積極活用するなど、環境の変化へも柔軟に対応しています。

2021年には、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している法人を顕彰する「健康経営優良法人認定制度」において、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」の取り組みが優良であると認められ、メニコンと子会社の株式会社ダブリュ・アイ・システム、株式会社メニコネクトが「健康経営優良法人2021」に認定^{※2}されました。

※1 メニコンの経営理念を実践するために、よりスマートでクリエイティブな働き方や業務ヘシフトしていく取り組みの呼称。

※2 メニコン、ダブリュ・アイ・システムは「大規模法人部門」、メニコネクトは「中小規模法人部門」での認定。



よりスマートでクリエイティブな研究開発環境を整備

メニコンは、経営理念の「創造」「独創」「挑戦」を実践する働き方のスローガンを「スマートクリエーション」とし、2017年から本社オフィスのフリーアドレス化をはじめ、営業拠点や工場においても、その業務や機能に合わせたフロアの見直しを行ってきました。

総合研究所では、設立から約25年が経ち、環境変化に対応しつつ、持続的なイノベーションを実現するため、各フロアを一新しました。改装コンセプトを「Switch～スイッチを入れる、フレキシブルに切り替える～」とし、研究や業務のフェーズに応じて発想を切り替えられるスペースを創り、新しい未来を想像する「ワクワク」に溢れた空間を実現しました。

この改装により、研究員の働き方というソフト面と実験室や設備というハード面の両面から、最先端の研究開発体制を整備し、研究員のクリエイティビティのさらなる向上と開発スピードアップを図り、新たな価値に満ちた製品開発を目指します。



改装した総合研究所にはディスカッションやミーティングなどに使用できる多様なスペースを設置

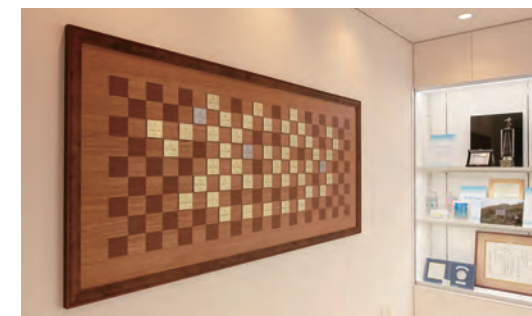
プロを育てるアドバイザー資格制度

メニコンは2002年より独自のコンタクトレンズアドバイザー資格制度「PAL^{※1}」を導入しています。①商品の品質を顧客に正しく確実に伝える力 ②商品の高付加価値化に対応できる力 ③習得した知識と技術を活用できる力、の3つを備えた人材の育成に取り組んでいます。基礎的な内容の「エレメント」をベースに、「スーパー」「ハイパー」の3階層からなる試験は毎年600名近くの社員が受験しています。「スーパー」および「ハイパー」合格者は、外部にもコンタクトレンズのプロフェッショナルであることがわかるよう、名刺に保持資格を表示しています。

2016年には、当社のものづくりの歴史や文化といった非学術的な分野における資格制度「BAL^{※2}」も導入しました。PALと併せて「真の安全哲学の伝道師」の育成を目指しています。また、2019年より、PALとBALの最高グレードである「ハイパー」合格者の氏名を彫刻したプレートを、本社北館1階のギャラリー Menio に掲げています。資格を取得した社員がコンタクトレンズのプロフェッショナルとしての自覚を持ち続けられるように、社員一人ひとりが成長できる企業風土をつくり上げています。なお、退職時には、記念としてこのプレートを盾に入れて贈呈しています。

※1 Menicon Products Adviser License System の略称。

※2 Menicon Brand Adviser License System の略称。



「ハイパー」合格者の氏名を彫刻したプレート

株主との関わり

コンプライアンスの維持・徹底とリスクマネジメントの強化・実行を行い安定した業績により株主満足度を高めます。

株主優待制度

株主の皆様はメニコンの事業をご理解いただくことで、より多くの皆様に応援いただきたいと考え、株主優待制度を導入しています。

2021年2月には、優待品・寄付金の増額、増量および商品の新設を行いました。優待品の内容は、メニコングループの販売店でご利用いただける優待券をはじめとして、コンタクトレンズケア用品、目の潤いをサポートする機能性表示食品「めにサプリ ビルベリー+M」、動物用サプリメント「ペロワン」など、当社事業に関連した商品からお選びいただけます。また、2018年度より社会貢献活動の一環として用意した「トキ保護募金」と「動物愛護委員会」への寄付については、それぞれへの寄付に加え、両方の団体へ寄付いただけるように選択肢を拡大しました。

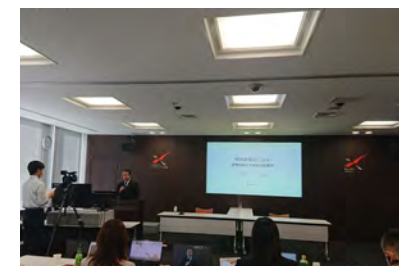
今後も株主優待も含めた情報発信を行うことで、継続して株主の皆様とのコミュニケーションを図っていきます。

投資家向け説明会を開催

メニコンは投資家・株主の皆様との対話を通じて、事業に関する理解を深めていただくため、投資家説明会を開催しています。

新型コロナウイルス感染症防止の観点から、オンライン形式にて代表執行役社長の田中英成による説明会を、機関投資家向け、個人投資家向けにそれぞれ開催しました。説明会では当社グループの事業を理解いただくために、コンタクトレンズや動物医療業界の現状、課題、将来性などについても触れながら、当社ビジョン、成長戦略を説明させていただきました。

今後もオンラインを活用しながら、継続的に対話の機会をつくっていきます。株主の皆様は末永く「サポーター」として応援いただくために、公正かつ適時、適切な情報開示を目指してまいります。



環境関連法規およびその他の同意事項を遵守するとともに、環境に配慮したエネルギーや資源の効率的実践します。

環境と文化への想いから和傘を導入

メニコンでは、本社ビル間を行き来する際に使用する傘として、コーポレートカラーである赤と緑のオリジナル「和傘」を導入しました。

資源・廃棄物の制約や海洋プラスチックごみ問題、地球温暖化といった環境問題が昨今クローズアップされている中、ビニール傘の廃棄問題に着目し、より環境に配慮した天然素材の「岐阜和傘」を導入しました。岐阜和傘は当社の主要工場が位置する岐阜県の伝統工芸品であり、全国の和傘生産量の多くを占めていますが、職人の高齢化により存続が危ぶまれています。昨今ではクラウドファンディングなどを利用した後継者育成プログラムもスタートしており、少しずつではありますが伝統工芸を絶やさない活動が行われています。メニコンではこのような伝統工芸という文化と歴史に敬意を表するとともに、環境への配慮も考え、和傘を採用しました。

メニコンは、2009年に「メニコン環境宣言」を行い、地球の未来を見据えて「人にも動物にも環境にも優しい地球企業」を目指して活動しています。また、メニコンは「社会」を重要なステークホルダーの一つとし、地球市民としてすべての尊い命から「良き隣人」と思われ続ける企業でありたいと考えています。これからも、環境への配慮、文化や歴史への敬意を意識した取り組みを続けていきます。



限りある資源を有効活用

メニコンは環境バイオ事業として稲わら分解促進材や畜ふんのたい肥化促進材などの開発に取り組んできました。それらの技術を基盤とし、未利用資源に新たな価値を付加した上で、さまざまな資源循環を実現しています。

ぶどう搾りかすを山梨県のブランド鮭「甲斐サーモンレッド」の飼料に活用

メニコンはワインの製造工程で発生するぶどうの搾りかすを乾燥粉末化して飼料化する技術を確認、実用化することに成功しました。現在、山梨県のブランド鮭である「甲斐サーモンレッド」の飼料として活用されています。

ぶどう搾りかすの粉末を魚の飼料に混ぜると、食べた魚の「旨味」と「コク」が増し、より長く鮮度が保たれ、魚が病気にかけにくくなる傾向があります*。

ワインの製造工程では、ぶどうの搾りかすが大量に発生します。これらは牛の飼料やたい肥に使われることがありますが、水分を含むため保存性が悪く、多くの工場で再利用に課題を抱えていました。一方で、ぶどうの搾りかすにはたくさんのポリフェノールが含まれており、さらなる有効活用が期待されていました。メニコンは、山梨県内の事業者様と協力し、ぶどうの搾りかすを乾燥粉末化して長期保存を可能にすることで、新たな利用方法を確立しました。

山梨県養殖漁業協同組合では、飼料にぶどう果皮粉末を混ぜるなどの一定の基準を満たして養殖した鮭を「甲斐サーモンレッド」と命名し、県内の養殖業者から販売しています。「甲斐サーモンレッド」は“山梨県ならではの”ブランド鮭であると同時に、持続可能な社会形成にも貢献しています。

メニコンはこれからも、皆様とのパートナーシップで限りある資源を有効活用する取り組みを広げ、環境事業の発展を通じて持続可能な社会の形成に貢献していきます。

※山梨県水産技術センター試験研究調査報告書より。



乾燥粉末化したぶどう搾りかす



「甲斐サーモンレッド」

クリーン活動

一般社団法人禁煙推進学術ネットワークは毎月22日を禁煙の日 (<http://www.kinennohi.jp/>) と制定しています。メニコンでは、地域への貢献活動として、毎月の禁煙の日にタバコの吸い殻をはじめとしたゴミを拾う清掃活動を、本社周辺地域で実施しています。

また、本社隣接の駐車場と HITOMI ホールの告知スペースに、「路上喫煙防止ポスター」を掲示しています。メニコンは、これからも地域のクリーン環境維持と住みやすい街づくりに努めていきます。



路上喫煙防止ポスター

「新潟県トキ保護募金」、 「佐渡市トキ環境整備基金」へ寄付金贈呈 ～ 2011年から10年継続～

メニコンは新潟県庁と佐渡市役所を訪問し、稲わら分解促進材「アグリ革命」シリーズの売上の一部として「新潟県トキ保護募金」に30万円、「佐渡市トキ環境整備基金」に20万円を寄付しました。また、「新潟県トキ保護募金」につきましては、株主の方々から優待申込をいただいた11万4,000円を併せて寄付しました。

メニコンでは、トキの自然環境保護および保全活動支援のため、2011年から「アグリ革命」シリーズの売上の一部をトキ保護募金・環境整備基金へ寄付しはじめ、2020年で10年を迎えました。また、トキ保護活動をさらに盛り上げることで、当社の新規事業である環境バイオ事業への理解

を深めてもらうことを目的に、2018年度より株主優待制度に「トキ保護募金」をラインアップしています。

新潟県や佐渡市ではトキが生きやすい環境づくりが進んでおり、環境省によると2020年7月3日時点にて、トキ67羽（2020年度）が巣立ちを迎え、佐渡市で生息する野生トキの総数は458羽前後と推定されています。

佐渡市には佐渡市認証米の制度があり、「生きものを育てる農法」であることが求められます。農家においては、「アグリ革命」を冬季湛水前の田んぼに広く散布し稲わら分解を行うことで、トキが生きやすい環境づくりに役立てていただいています。

メニコンはこれからも環境に優しい商品の開発を行い、トキと共存できる環境づくりを支援します。



新潟県副知事 米澤朋通氏（右／当時）と田中英成代表執行役社長



佐渡市市長 渡辺竜五氏（左）と伊藤善執行役

スポーツ・文化事業を通じ、地域住民や社会に貢献します。

サッカー選手を目指す子どもたちの チャレンジ精神を応援

「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する。」を企業スローガンとしているメニコンは、「眼で戦うスポーツ」といわれるサッカーを通じて「視ることの素晴らしさ」をお届けするため、1995年から「メニコンカップ 日本クラブユースサッカー東西対抗戦 (U-15)」に特別協賛しています。

第26回大会は新型コロナウイルス感染症の影響で残念ながら中止となりましたが、25年の歴史を振り返る「メニコンカップ2020特別番組～未来の日本代表よ、KEEP TRYING!～」をインターネットスポーツメディア「スポーツツブル」で生配信するオンラインイベントを開催しました。これからの日本サッカー界を担う若年代には、この逆境に負けず挑戦を続けてほしいという想いを込めて企画しました。番組には、中学時代にサッカーで群馬県選抜に選ばれたことのあるタレント・JOYさんをMCとしてお迎えし、元サッカー日本代表でサッカー解説者・松木安太郎さんとJリーグ名誉女子マネージャーとして活躍中の女優・足立梨花さんにゲストとしてご出演いただきました。そして、現在国内外でプロとして活躍する選手たちがかつてメニコンカップで魅せたプレーを映像で振り返ったほか、U-15世代の選手とゲストたちをオンラインでつないだ交流会、サッカーにまつわるクイズ、スポーツをするのに重要な視力「スポーツビジョン」についての紹介など、さまざまなコーナーを実施しました。



ボーイズリーグの活動支援

メニコンと子会社の株式会社アルファコーポレーションが、公益財団法人日本少年野球連盟への協賛を通じてボーイズリーグの活動を支援しました。

東日本ブロックにおける第45回日本少年野球関東大会に特別協賛し、「メニコン杯」として2020年8月開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により大会中止となったため、代替大会の賞品提供を行いました。

また、ボーイズリーグのコーチや選手の保護者を対象とした、スポーツにおける視力の重要性に関する講演会をリモートで行いました。

メニコングループは、これからもスポーツに励む子どもたちの活動を応援します。



メニコンスーパーコンサート2020

メニコンは「視ることの素晴らしさ」を多くの方にお届けするために、ホールの臨場感や指揮者の躍動感などを生で感じ、目で見て楽しんでいただけるよう、毎年開催場所を変えて「メニコンスーパーコンサート」を開催しています。

2020年は広島での開催を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響のため、開催を断念しました。コロナ禍で音楽芸術が衰退の危機にある中、アーティストへ活動の場を提供すること、歌劇「あしたの瞳」を通して目の大切さを発信することを目的に、「あしたの瞳紹介VTR」を制作し、10月10日の目の愛護デーから2021年3月までメニコンのウェブサイトにて無料公開しました。

「あしたの瞳紹介VTR」は、「あしたの瞳」の代表曲のダイジェストで構成されています。歌手7名のほか作曲家の宮川彬良さんが解説者として出演し、コロナ禍の困難を乗り越え明日へと希望をつなぐメッセージを発信いただきました。例年は公演場所が限定されるスーパーコンサートですが、今回は動画の配信のため、全国どこからでもご視聴いただくことができ、多くの方に舞台芸術の感動に触れていただける機会となりました。

※「あしたの瞳」は2013年に東京、2015年に名古屋で上演した宮川彬良さん初の書き下ろしオペラです。コンタクトレンズを生み出した男の半生を紐解きながら「みることはなにか?」という問いかけを通じて、人間の心の根源へ迫り、人生を豊かに生きることのエッセンスを伝えています。

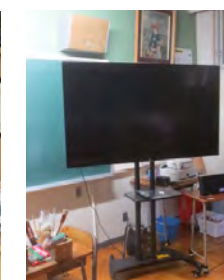


小中学校備品等整備事業へ寄付

メニコンの子会社でコンタクトレンズケア用品の開発・製造等を行う株式会社メニコンネクトは、岐阜県郡上市の小中学校備品等整備事業へ1,000万円を寄付しました。メニコンネクトが2021年に創業50周年を迎えるにあたり、長年事業活動を行い、工場で勤務する多くの従業員の生活拠点でもある郡上市への感謝として、郡上市の子どもたちの学習に役立てていただくため、企業版ふるさと納税制度^{*1}により郡上市の小中学校備品等整備事業へ寄付を行いました。



郡上市市長 日置敏明氏 (左) と
メニコンネクト 宇佐美淳一社長



設置された大型モニター

た。これにより市内の小中学校26校に65型の大型モニター78台が設置され、文部科学省が提唱する「GIGAスクール構想^{*2}」への貢献にもつながっています。

※1 地方公共団体が行う地方創生の取り組みに対し、企業の寄付を通じて地域社会への貢献につなげる制度。

※2 文部科学省が提唱する、児童生徒向けの1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備し、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化された創造性を育む教育を、全国の学校現場で持続的に実現させる構想。

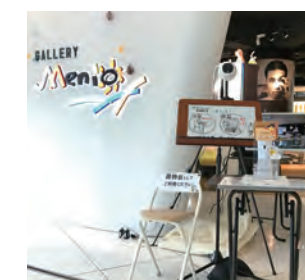
メニコン ANNEX 感染対策 (HITOMIホール&ギャラリー Menio)

メニコンは、企業文化を接点として地域社会と交流し、新たな芸術や文化の創造を発信するため、本社北館 (ANNEX) に「ギャラリー Menio」と「HITOMIホール」を開館しています。

2020年は新型コロナウイルス感染症拡大の影響のため、メニコン ANNEX開館以来初めて休館の対応となりました (3/16～6/10までHITOMIホール、ギャラリー Menio全館休館)。予定されていた催事も次々に中止・延期となりましたが、アーティスト支援のため、コロナ禍によるキャンセル料は無償、次回の予約に関しても猶予をもったルールを新たに設定の上、対応しています。

再開にあたっては、行政の方針に則り、ホール入場者数を定員の半数の50名に制限。入館者全員の体温測定に自動測定機を導入、健康アンケートの提出、対応スタッフのマスク・フェイスシールド着用などの感染対策を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて、主催者様や来館者様のご協力のもと、これからも芸術や文化の発展に寄与していきます。



入館時に検温、消毒、健康アンケートなどの感染対策を実施



コーポレートガバナンス

経営の健全性・透明性を確保し、すべてのステークホルダーから信頼を得ながら、継続的に企業価値を高めていくためにコーポレートガバナンスの充実に取り組んでいます。

コーポレートガバナンス体制の概要

当社は会社法に規定する指名委員会等設置会社であり、取締役9名(うち社外取締役6名)および執行役10名(兼務取締役1名を含む)により構成されています(2021年3月31日現在)。社外取締役は客観的・大局的に、企業価値の向上という観点から執行役が行う経営の監督ならびに助言を行っています。

業務執行および経営の監督の仕組みとしては、株主総会において選任された取締役で構成する取締役会が会社の重要な意思決定と執行役等の職務執行の監督を行い、経営を監視し、取締役会により選任された執行役が担当業務ごとに強化された権限により、迅速で効率的な業務執行を実現しています。

リスク管理体制

当社は、リスク管理責任者を社長とし、リスク管理の全社的推進とリスク管理に必要な情報の共有化等を図るため、CSR委員会を設置しています。同委員会では想定されるリスクの分析を行い、リスクの回避・低減・移転・受容その他必要な措置を事前に講じています。

事故等発生時の対応および事故等の処理後の報告、人命に関わる緊急事態発生時の報告経路、苦情への対応、医薬品医療機器等法その他の関連法規に則した対応等を規程に定め、運用しています。また、災害などにより重要業務が中断しないよう事業継続計画(BCP(Business Continuity Plan))を整備しています。新型コロナウイルス感染症の拡大状況に応じて従業員の健康維持と事業継続のための対策を随時行うことにより、生産・物流・販売業務を遅延することなく遂行することができました。

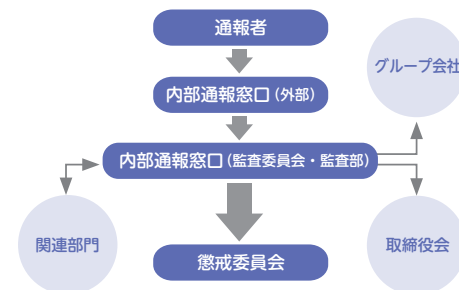
この他に、各分野におけるリスク管理のため、「品質保証安全管理委員会」「PLD委員会」「個人情報保護委員会」「メニコン公正取引管理委員会」を設置しています。

内部通報制度

当社は、社員および役員による不正行為の未然防止、早期発見と是正のため、内部通報制度を導入しています。匿名性の確保のため、通報窓口を社外(専門の第三者機関)に設置し、海外を含めたすべてのグループ会社からの通報や相談を受け付けています。この制度は社員だけでなく、派遣社員やパート、アルバイトも利用できます。また、通報者の保護のため、通報を理由とする不利益を社内規程で禁止し、安心して通報や相談ができるようにしています。

通報に対しては、公正、公平かつ誠実に、また通報者保護と秘密保持に配慮して事実関係の調査等を行っています。

調査の結果、不正行為等が確認された場合は、就業規則等に従って適切に対処しています。



コンプライアンス体制

当社は、以下をコンプライアンスの基本方針としています。

- ①コンプライアンス(法令・定款等遵守)の実践を、経営の重要課題の一つとして位置付ける。
- ②当社の役員および社員へのコンプライアンスの徹底は、当社の経営の基盤であることを強く認識し、健全かつ公正で透明性の高い企業活動を行う。
- ③経営の健全性、遵法性を高めるため、コーポレートガバナンス(企業統治)機能を維持し、法令・定款等に合致した行動をとる。
- ④法令・定款をはじめとする社会的ルールを遵守し、企業倫理意識を常に向上させていく。
- ⑤常にコンプライアンスを意識した、最良の商品およびサービスを提供し、顧客満足度のさらなる向上を図る。
- ⑥万一、法令・定款等の違反行為が生じた場合には、原因究明を徹底して行い、再発防止に努める。

また、メニコンと国内子会社向けに独自制作した電子版「コンプライアンスガイド」をイントラネット上に掲示し、海外子会社に対してはコンプライアンス規程の整備を通して、グループ内のコンプライアンスの維持向上に努めています。当社グループとして、従業員のコンプライアンス意識の向上と法令等違反の防止を目的に全社コンプライアンス教育を毎年立案し、e-ラーニングを活用して全従業員への教育を計画的に行っています。



品質マネジメントシステム

当社では「安全哲学憲章」を掲げ、「より良い視力の提供を通じて、広く社会に貢献する。」という企業スローガンのもと、品質の確保および顧客満足を目指して、本社はもとより、Menicon SAS、Menicon Pharma SAS、Menicon Limited、Menicon Singapore Pte. Ltd.、Menicon B.V.、SOLEKO S.p.A.、株式会社メニコネクト、株式会社アルファコーポレーションにおいて、医療機器の品質マネジメントの国際規格であるISO(またはEN ISO)13485を取得しています。

ISO13485とは、ISO9001をベースに医療機器固有の要求事項を追加した、医療機器の安全性と品質を継続的に確保するための品質マネジメントシステム規格のことで、さらにMenicon Pharma SAS、Menicon Limited、Menicon B.V.、SOLEKO S.p.A.では、欧州の品質保証規格に適合した商品であることを示すCEマークも取得し、国内外に向けて確かな品質をお届けしています。

この品質マネジメントシステムが引き続き適切で、妥当で、かつ有効であることを確実にするために、品質マネジメントシステムの経営層によるレビューを年2回開催しています。このレビューを通じ、お客様からのフィードバックやリ

スクマネジメントを踏まえた製品の継続的評価、ならびに品質マネジメントシステム変更の必要性の評価を行い、当社品質マネジメントシステムの継続的改善に努めています。

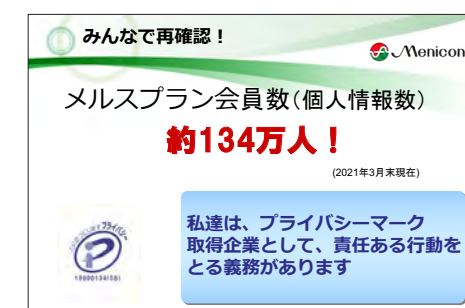
また、製造販売後安全管理に関する業務に従事する者に対する社内教育訓練を定期的に行い、お客様を含む市場からの安全管理情報を適切に収集、評価し、製品の安全確保に継続的に努めています。



個人情報の保護体制

当社では、お客様および当社に関わるすべての方からお預かりした個人情報を適切に利用し、保護することが事業活動の基本事項であり社会的責任であると考えています。そのため個人情報の保護について細心の注意を払うとともに、当社のサービスを安心してご利用いただくための「個人情報保護方針」を定めるとともに、「プライバシーマーク」を取得し、全従業員に対し定期教育を実施しています。

また、GDPR(EU一般データ保護規則)に対応するとともに、子会社においても当社と同等の個人情報保護水準となる「メニコングループ個人情報保護規程」の整備を行っています。



社内個人情報保護教育テキストより



株式会社メニコン

〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵三丁目21番19号

TEL 052-935-1515(代)

<https://www.menicon.co.jp/>